

【学校教育目標】「進んで学び 共に世界で生きる子」

1 令和5年度の取り組み

合言葉	にこにこ えがおで なかよくします
子供像	相手を思いやりだれもが気持ちよく過ごせるよう行動する子
指導の重点	(1)よい人間関係を築くための言葉を適切に使える。 (2)自分たちの生活は、自分たちでよりよくする。

しっかり かかわり かんがえます
人・もの・ことのかかわりから進んで学ぶ子
(1)学ぶ意義を知る。 (2)自分の考えをもってかかわる。 (3)かかわりを通して高まった自分に気付く

のびのび げんきに かつどうします
自分の心と体を知り、健康・安全に気を付け、自己の向上を目指して活動する子
(1)体を動かす楽しさを味わい進んで運動に取り組む。 (2)けがや病気の無い、健康で安全な生活をする。 (3)自分の心と向き合い、自己の理解を深める。

こつこつ ねばりよく とりくみます
自分の思いや考えを持ち ねばり強く頑張る子
(1)「何をしたいのか」「どうになりたいのか」という自分の思いを見つめ、その達成のために取り組む。

そう思う、だいたいそう思う	児童	保護者	職員
時や場を考慮して温かい言葉づかいをしている。	92%	90%	97%
自分の仕事ややるべきことを精一杯行っている。	94.8%	89%	97%
安心して学校に通い、楽しい学校生活を送っている。	94%	94%	97%
みんなが気持ちよく過ごせるように、相手の気持ちを考慮して行動し	94.3%	93%	97%
自分の生活をよりよくするため	94.5%	84%	93%
に、できることを考えたり、行動したりしている。			

そう思う、だいたいそう思う	児童	保護者	職員
よりよい自分になるために、進んで学習に取り組んでいる。	94%	76%	87%
タブレットを使った学習は、分かりやすい。	95%	89%	82%
タブレットを活用して学習をすると、自分の考えが広がったり深まったりする。	93.8%	87%	88%
友達と協力して物事を行うことは、楽しい。	96.3%	96%	86%
地域の方や外部の方から話を聞いたり、教えてもらったりすると学習がよく分かる。	95.8%	94%	95%

そう思う、だいたいそう思う	児童	保護者	職員
体を動かす楽しさを味わい、進んで運動に取り組んでいる。	92.5%	89%	93%
事故やけが、病気に気をつけて健康で安全な生活をしている。	96%	94%	99%

そう思う、だいたいそう思う	児童	保護者	職員
むずかしいことでもあきらめずねばり強く取り組んでいる。	92%	78%	95%
夢やめあてに向かって努力をしている。	93.5%	82%	95%
教師はお子さんががんばると褒めたり励ましたりしている。	92.8%	92%	95%

子供のじまん「3つのきれい」に対する評価

	児童	保護者	職員
「きれいな心」を意識し自分から進んで気持ちのよいあいさつをし	93.8%	86%	92%
「きれいな歌声」を意識し自分や友達の声を聞いてきれいな声で歌っている。	95%	91%	94%
「きれいな学校」を意識しそうじや整理整頓をして身の回りの環境を整えている。	94.5%	84%	90%

学校運営協議会による学校関係者評価  
 ・いじめに対して、学校体制で早急に対応していること、きちんと聞き取りをしていることは評価できる。今後も、子供が安心して笑顔で過ごせる学校であってほしい。家庭にタブレットを持ち帰り、アンケートに答えるのはどうか。ICTは学習面でも使えるが、その他の活用方法についても考えるべき。  
 ・主体的な学習は子供がよりよく生きていくために必要なこと。この地域には、誇るべき、ひと、もの、ことが多くあるので、これらに関わる機会を増やすことで、地域への理解、愛着が深まるとともに主体性も引き出せるのではないかと。協力したい。  
 ・子供に地域の一員としての自覚を持たせることで、地域での挨拶もできるようになるのではないかと。学校・家庭・地域が連携し、多くの手で子供を育てていくことが望ましい。

今後の改善方針  
 ・学校内外で挨拶をすることができるように、児童会で話題にしたり、教師から積極的に挨拶をしたりする。  
 ・進んで学習に取り組むことができるように、「自ら課題解決しようとする単元・授業構想の工夫」をテーマにチーム研修を進め、授業改善を行う。  
 ・「ふわふわ言葉週間」や「いじめ対策週間」を学期に1回ずつ時期に合ったテーマを設定し、家庭や学校が連携して取り組むことで取り組みを充実させ、豊かな人間性を育む。  
 ・キャリア教育の充実を図るため、人・もの・ことのかかわりの中で、自他のよさや成長を実感することができる豊かな体験の場を設けたい。そのために年度当初に見通しをもち、学校運営協議会の協力を得る。  
 ・クラブ活動や授業等様々な場面で地域・保護者ボランティアを活用し、地域との連携を深める。  
 ・タブレット学習の推進を図るため、家庭への持ち帰りをを行う。

<分析・考察>

全体的に評価が高く、子供たちが学校で概ね安心感をもって充実した生活をしている。今年度の全国学力学習状況調査は、全国平均を大きく上回っており、基本的な学力が定着している。これは、家庭が学校の運営方針を理解し、子供を支え、地域の方からもボランティア等で協力いただけたためであると言える。

に・コロナ禍は小さかった挨拶の声も交通ボランティア、PTA、職員、委員会の子供たちから挨拶をされたことで、気持ちのよい挨拶ができる子が増えた。職員室前を通る子供たちの声も元気よく、明るい雰囲気である。しかし、地域では、挨拶が返ってこないという意見があった。学校の内外を問わず挨拶ができるように挨拶のよさを伝えていきたい。いじめに関することとしては、子供や保護者からの連絡に学校体制で素早く対応している。はままついじめアンケートをタブレットで実施したことで、本音を引き出しやすくなった。アンケートに書かれたことは、全て面談を行い、継続的に見ていくことにしている。よりよい人間関係を築くためにふわふわ言葉週間やいじめ対策週間を定期的に行い、学級ごとに思いやりをもち、互いが気持ちよく過ごす方法を考えて意識を高めている。

し・言われたことや与えられた課題に真面目に取り組む子供は多いが、よりよい自分になるために進んで学習に取り組む子供は少ない。キャリア教育とつなげ、努力が成功につながる体験や進んで取り組んだことが自分のためになると感じられる経験を積ませたい。また、今後一層、ICTを使った個別最適で協働的な活用について考えたい。

の・どんな日課であっても15分休みを設定し、子供同士が誘い合って遊べる時間を確保した。また、ふれあいデーや業務改善によってゆとりができ教員も率先して運動場に出ているため、今まで外遊びが苦手だった子供も外に出て遊ぶ姿が見られた。体力テストの結果は、ほぼ市の平均を越えたが握力、ボール投げに課題があった。

こ・失敗を恐れたり、難しいと感じるとあきらめて挑戦しなかったりする傾向がある。仲間を受け入れたり励ましたりすることができる子供たちなので、失敗を恐れずに課題に挑戦することを応援し、乗り越えさせたい。

きれい・3つのきれいを意識することで、環境が整い、落ち着いてのびやかに生活することにつながっている。毎日きれいな歌声を意識して歌を歌うことで、歌う楽しさやみんなと声を合わせるよさを感じている。3つのきれいは、子供たちにとって西小の自慢となっている。今後ますます自分の学校に誇りを持ち、みんなでもっとよい西小を創るという意識で取り組んでいきたい。

児童・保護者・職員の意見

○よいところ

- ・みんな元気いっぱい、優しく、仲が良い。
- ・縦割り活動でいろいろな学年の子とふれあうことができる。
- ・学校の雰囲気が温かい。・子供が素直で落ち着いている。
- ・友達が困っているときや失敗してしまったときに、自然と手を差し伸べたり、温かい声を掛けたりすることができる。
- ・職員が学校全体で子供を見ている雰囲気がある。
- ・1年生から英語学習に力を入れているのが特徴的。
- ・西小ブログから子供への深い関心と教育への情熱を感じる。

○今後実践するとよいこと

- ・保護者が授業のボランティアをしたり、学校・家庭・地域がつながったりできる取り組み。
- ・低学年も自分たちで考えたイベントを主催する。
- ・学習でわからないことがあったときに質問しやすい環境作り。
- ・校外学習や教室以外で行う授業を増やし、外部と関わる機会を設ける。
- ・近所に住む人に進んで挨拶ができるようになるとよい。挨拶をされると相手も自分も気持ちがいいことを知ってほしい。